

「福山市におけるインバウンドに対応したサインの
多言語化等ガイドライン（素案）」について

ア 策定の目的

2025年日本国際博覧会（略称、「大阪・関西万博」）の開催等により、今後世界中の様々な国や地域から多くの外国人が日本を訪れることが期待されている。

本市においても、第20回世界バラ会議福山大会2025などの開催により、多くの外国人が訪れる見込みであり、本市ならではの美しい景観の維持、魅力的なまちづくりをめざす上で、サインの果たす役割は大きいと考える。

今後、本市を訪れる多くの方々が、目的地まで安全かつ円滑に移動でき、市内でのまち歩きが楽しめるよう景観やユニバーサルデザインに配慮したサイン整備を一体的に進めていくための方針を示すもの。

イ ガイドラインの（素案）の概要

別冊資料1のとおり

ウ 今後の予定

（ア）6月1日～30日 パブリックコメントの実施

（イ）6月 福山駅前デザイン会議、福山市 MICE 推進協議会等での
意見聴収

（ウ）9月 ガイドライン策定

福山市におけるインバウンドに対応した サインの多言語化等ガイドライン(素案)

目次

1	はじめに	1
2	ガイドラインの概要	2
	(1) ガイドライン策定の背景・課題	2
	(2) 基本的な考え方	2
	(3) ガイドラインの運用	3
3	整備方針	5
	(1) サインの定義	5
	(2) 配置計画	7
	(3) 情報計画	10
4	事業推進に向けて	30
	参考. 用語リスト	31

1 はじめに

我が国においては、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいるインバウンドのV字回復に向けた取組や、2025年日本国際博覧会（略称、「大阪・関西万博」）の開催等により、今後世界中の様々な国や地域から多くの外国人が日本を訪れることが期待されている。

本市においても、第20回世界バラ会議福山大会2025（以下、世界バラ会議という。）などの開催により、多くの外国人が訪れる見込みであり、本市ならではの美しい景観の維持、魅力的なまちづくりをめざす上で、サインの果たす役割は大きいと考える。

サインにかかわる指針として、国は、観光立国の実現をめざすため、平成26年3月に「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」を策定した。

今後、本市を訪れる多くの方々が、目的地まで安全かつ円滑に移動でき、市内でのまち歩きが楽しめるよう景観やユニバーサルデザインに配慮したサイン整備を行うため、サインシステムや表示案内のルール化を図ることとした。

本ガイドラインを通じて、分かりやすく統一性のあるサイン等の整備を一体的に進めていくための基本的な方針を示すことで、国際都市福山の発展をめざすものである。

2 ガイドラインの概要

(1) ガイドライン策定の背景・課題

現況の調査や関係事業者の意見において、「用語・固有名詞の不統一」や「アクセスルートの不統一」、また、「サインの設置数、外国語ガイドマップの不足」などが課題として挙げられている。福山駅からの二次交通で主な公共交通機関の一つであるバス交通においても、多言語情報の不足や案内スタッフの不足等の課題が抽出された。

世界バラ会議の開催を見据え、今後増加が期待される外国人観光客等が、観光地や市内施設などあらゆる場面で分かりやすく統一性のあるサインにより、本市の観光をスムーズに楽しめるよう、市内に所在するサインを多言語化するなどの受入環境を、一体的に整備することが急務である。

また、様々なエリアに設置されるサインは、設置者や設置時期が異なるため、情報の一貫性や形状・デザインの統一性が得られないまま整備され、サイン設置後の継続的な維持管理もなく、サイン情報の更新やメンテナンス等が不十分となり、サインの途切れなどによる利用者の混乱やサインの老朽化などによる景観の悪化を招いている。

(2) 基本的な考え方

本市のサイン整備にあたっては、観光客にとって目的地までの移動がスムーズになるだけでなく、本市がより魅力的な地域となるために、分かりやすく統一性のあるサイン整備を、一体的に進めていくことが必要である。

これらを踏まえ、本ガイドラインに基づく整備にあたり、次の項目を基本理念とする。

『分かりやすく統一性のあるサイン等の整備を一体的に進め、国際都市福山の発展をめざす』

【目的地までのアクセスを誰にでも分かりやすく】

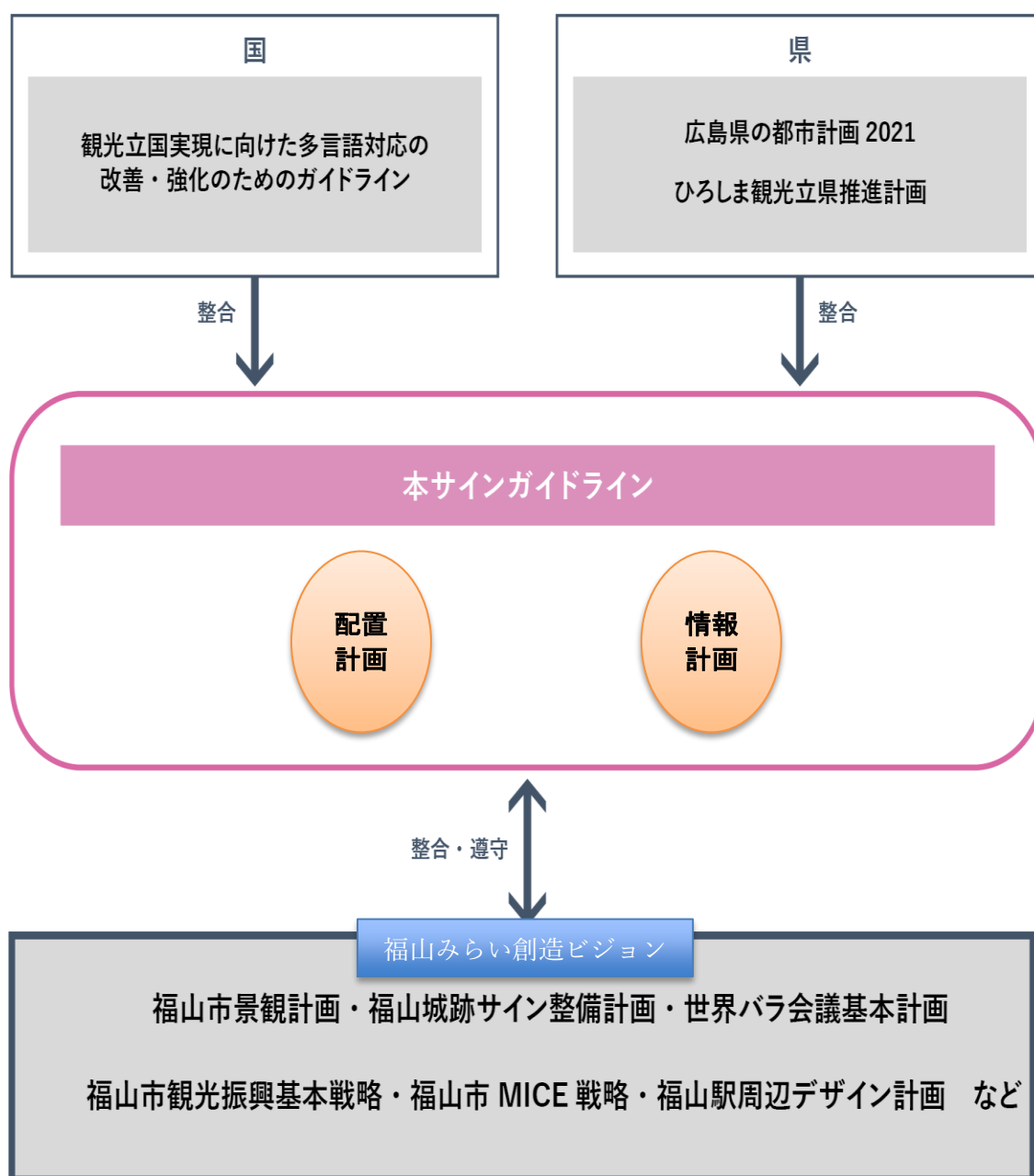
ユニバーサルデザインに配慮した多言語サインを強化し、国内外の旅行者が単独でも目的地へ到達できる整備を実施する。

(3) ガイドラインの運用

①位置づけ

本ガイドラインは、本市サインの整備の考え方を示したものであり、市内全体で一定以上の性能を保ち、統一的なサイン整備を行えるようにするために、必要な項目を記載する。また、本市には商業地域や住居地域その他、歴史的景観地区など地域ごとに様々な特性があるため、単に画一的なサイン整備を進めるのではなく、エリアごとの特性や計画を考慮することが必要である。

本ガイドラインの策定にあたっては、国や広島県の施策や指針などの上位計画、「福山市景観計画」・「世界バラ会議基本計画」・「史跡福山城跡サイン整備計画」などの指針と整合性を図る。

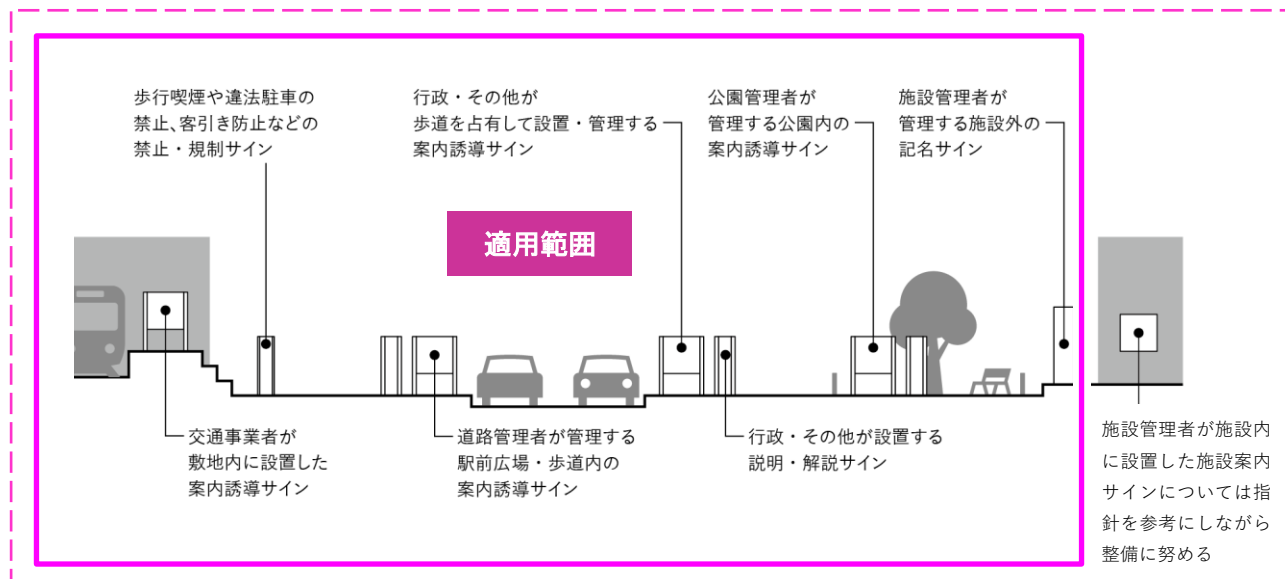


②対象となるエリア

本ガイドラインは市内全体を対象エリアとする。

【適用範囲】

本ガイドラインが適用される範囲を示す。



適用範囲は、公共空間を基本とする。ただし、民有地で公共性の高い空間については、本指針を参考にしながら整備に努める。

③運用方法

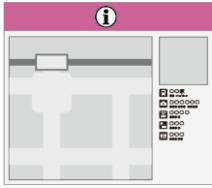

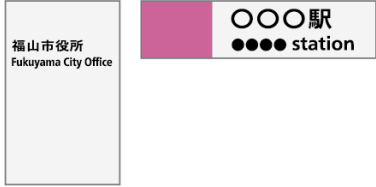


本ガイドラインは官民共通の指針として活用し、民間の施設管理者および交通事業者、宿泊施設事業者などに周知し、統一性を図る。

3 整備方針

(1) サインの定義

【サインの機能種別】

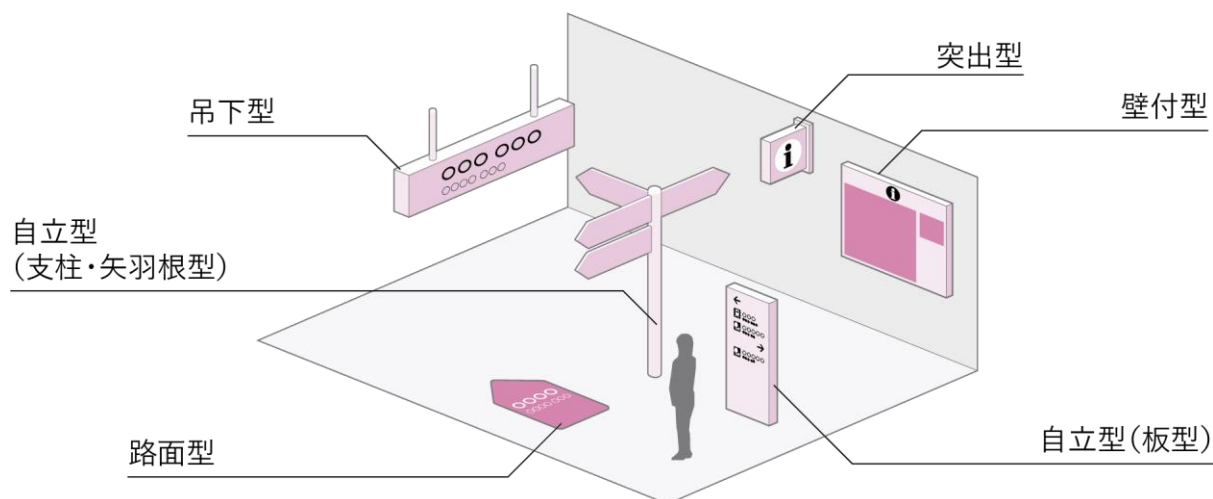
サインの機能種別は、次のとおり定義する。

機能種別	定義	イメージ
案内サイン	施設等の位置関係を案内するのに必要なサイン	
誘導サイン	施設等の方向を指示するのに必要なサイン	
記名サイン	施設等の名称を表記するのに必要なサイン	
説明・解説サイン	施設の内容，意図，使用方法を示すのに必要なサイン	
禁止・規制サイン	利用者に禁止，危険，注意を示すために必要なサイン	

【設置形式の定義】

サインの設置形式は、次のとおり定義する。

設置形式	定義
自立型（板型）	床や地面にアンカーを打って自立させる設置形式
自立型（支柱・矢羽根型）	柱から突出して設置する形式
壁付型	壁に平付ける形式
突出型	壁や柱などから突出して設置する形式
吊下型	天井や梁などから吊り下げる形式
路面型	道路面，床面に設置する形式



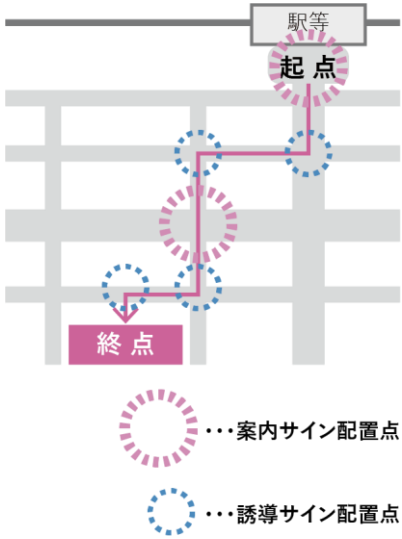
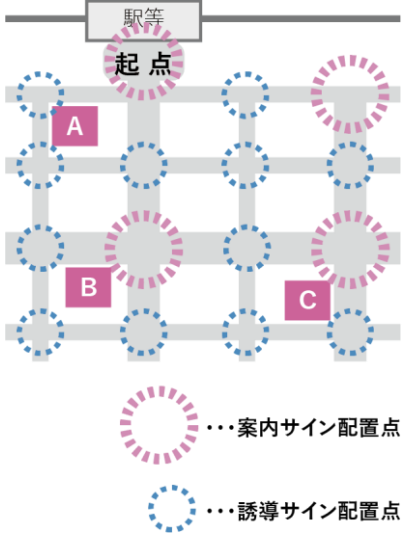
(2) 配置計画

① 配置基準

案内誘導は、目的施設へ向けた起点（主に駅の改札口やバスのりば）から終点（目的地）までの間に案内サインと誘導サインと、記名サインを適切に配置し円滑な移動を促す。

配置については、次の2つの配置の考え方を用いて計画する。

【基本となるサインシステム図】

① 線条配置	② 階層配置
	
<p>あらかじめ起点と終点を想定し、その間の要所に情報を配置する考え方</p>	<p>特定の行動の起点を想定し、そこから不特定の終点に向かって情報を配置する考え方</p>

【配置の基本的な考え方】

サインの種別	配置箇所	配置の向き
案内サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・駅や官公庁施設など行動起点となる場所に配置 ・分岐点に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路に平行に配置 ・実際の地形と地図の表示方向をあわせて配置
誘導サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点に配置 ・分岐点に配置 ・情報が途切れないう連続的に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・表示面が自然に視界に入る見やすい向きに配置 ・動線上の正面に見える向きに配置
記名サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の正面に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口の正面に見える向きに配置

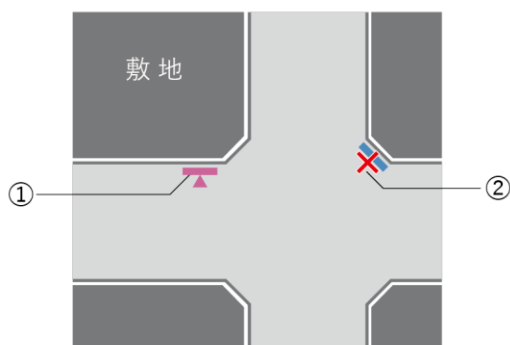
② 設置基準

サインにはその機能にあった設置方法があり、視認する距離により異なる。基本的には表示面が自然に視界に入る、見やすい高さに情報を掲出することを基準とし、ユニバーサルな視点にも配慮して設置する。

平面設置基準 - 自立型(板型) -

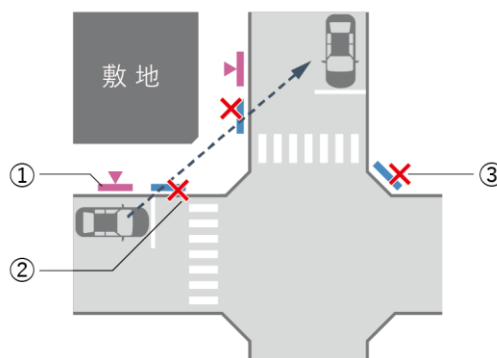
歩道のない通り

- ① 敷地寄りの位置に道路側に向けて設置する。
- ② 通りとの位置関係が曖昧で方向が把握しづらくなるため、通りに対して斜めに設置せず、表示面向きは道路と並行とする。



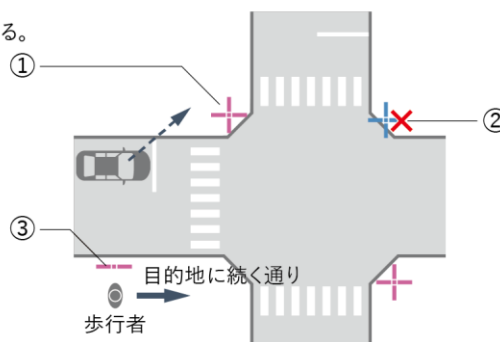
歩道のある通り

- ① 歩道上に設置する場合は、車道寄りの位置に歩道に向けて設置する。
- ② 運転者視野の妨げになる位置に設置しない。
- ③ 通りに対して斜めに設置せず、表示面向きは道路と並行とする。



平面設置基準 - 自立型(支柱・矢羽根型) -

- ① 交差点ではどの方向からも視界に入るよう、交差点の角の車道寄りに設置する。
- ② 矢羽根が車道にはみ出す位置に設置しない。
- ③ 各矢羽根は表示する目的地に続く通りと並行させる。

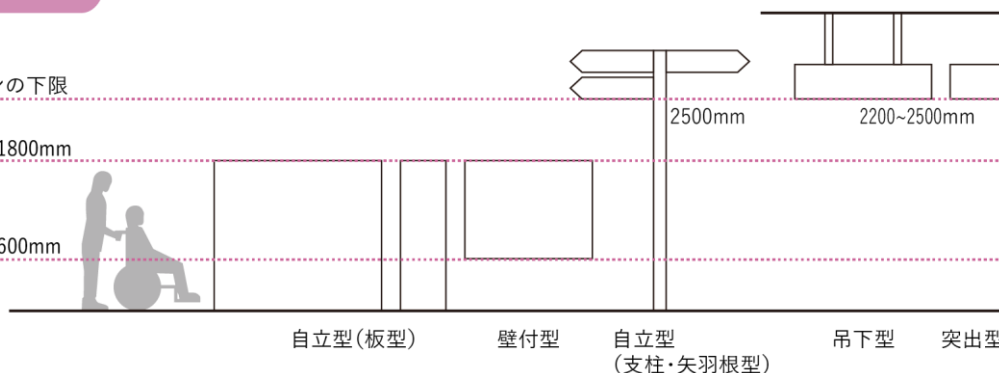


立面設置基準

頭上に設置するサインの下限

表示面高さ推奨上端 1800mm

表示面高さ推奨下端 600mm



【盤面素材や加工方法について】

サインは屋外に設置されているものがほとんどであり，経年により物理的に劣化するためメンテナンス面での配慮が必要である。

基準)

- ・耐久性，耐候・耐水性，表現性，修正・更新，経済性等に優れた素材を用いること。
 - －防汚機能（らくがき対策・汚れ防止）
 - －難燃機能（たばこの火の押し付けや放火等の対策）
 - －耐摩耗性（尖った物での突きや引っ掻き傷の防止）
 - －耐粘着性（許可のない貼り紙やシール等の対策）
 - －耐候性（屋外使用によるひび割れや退色などの対策・沿岸部での塩害対策）
- ・景観の質を保つため，美しさを常に維持できるメンテナンスしやすい素材を用いること。

(3) 情報計画

① 多言語表記

多言語表記は、2か国語（日本語・英語）表記を基本とする。

ア 案内サイン

- ・ 駅名，バス停名，施設名などの固有名詞を含め，原則2か国語（日本語・英語）表記とする。
- ・ 案内所，大規模集客施設，主要観光スポット，広域避難場所，ピクトグラム凡例等は，視認性等に問題がある場合を除き，4か国語（日本語・英語・中国語（簡体字）・韓国語）表記とする。

※上記言語の考え方は，観光庁の「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」及び本市におけるインバウンドに関する統計データに基づくもの。

【案内サインの多言語表記例】



イ 誘導サイン

- ・ 駅名，バス停名，施設名などの固有名詞を含め，原則2か国語（日本語・英語）表記とする。
- ・ 案内所は，視認性等に問題がある場合を除き，4か国語（日本語・英語・中国語（簡体字）・韓国語）表記とする。

【誘導サインの多言語表記例】



② 表記方法

外国語の表記方法は「観光立国実現にむけた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン（観光庁）」を基本とする。

ア 固有名詞（地名、駅名、施設名 等）

英語：原則として、ローマ字により発音どおりに表記する。

中国語：漢字を中国語の漢字に変換する。

韓国語：原則として日本語の発音をハングルで表音表記する。

例)

東桜町 Higashisakura-machi 东桜町 히가시사쿠라초

イ 普通名詞

英語：原則として英語訳を表記する。

中国語：中国語に訳して記載する。

韓国語：原則として韓国語に訳して表記する。

例)

郵便局 Post Office 邮局 우체국

ウ 普通名詞を含む固有名詞

英語：原則として固有名詞部分はローマ字により発音どおりに表記し、普通名詞部分は英語で表記する。

中国語：固有名詞部分は一般的な固有名詞の表記方法により表記し、普通名詞部分は中国語に訳して記載する。

韓国語：固有名詞部分はハングルで表音表記し、普通名詞部分は半角スペースを空けて韓国語に訳して表記する。

例)

緑町公園 Midorimachi Park 绿町公园 미도리마치 공원

エ ローマ字表記はヘボン式とする。

オ スペース・視認性の観点から適当と考えられる場合は、略語を用いることができる。

例) Station → Sta. , Building → Bldg.

カ 施設名、観光スポット名、駅名、バス停名などの固有名詞で漢字を含むものはひらがなでルビをふる。

日本語音	ヘボン式ローマ字つづり
あ	a
い	i
う	u
え	e
お	o
か	ka
き	ki
く	ku
け	ke
こ	ko
さ	sa
し	shi
す	su
せ	se
そ	so
た	ta
ち	chi
つ	tsu
て	te
と	to
な	na
に	ni
ぬ	nu
ね	ne
の	no
は	ha
ひ	hi
ふ	fu
へ	he
ほ	ho
ま	ma
み	mi
む	mu
め	me
も	mo
や	ya
—	—
ゆ	yu
—	—
よ	yo
ら	ra
り	ri
る	ru
れ	re
ろ	ro
わ	wa
—	—
—	—
—	—
—	—
ん	n
—	—
—	—
—	—
が	ga
ぎ	gi
ぐ	gu
げ	ge
ご	go
ざ	za
じ	ji
ず	zu
ぜ	ze
ぞ	zo
だ	da
ち	chi
づ	tsu
で	de
ど	do
ば	ba
び	bi
ぶ	bu
べ	be
ぼ	bo
ぱ	pa
ぴ	pi
ぷ	pu
ぺ	pe
ぽ	po









日本語音	ヘボン式ローマ字つづり
きゃ	kya
きゅ	kyu
きょ	kyo
しゃ	sha
しゅ	shu
しょ	sho
ちゃ	cha
ちゅ	chu
ちょ	cho
にゃ	nya
にゅ	nyu
にょ	nyo
ひゃ	hya
ひゅ	hyu
ひょ	hyo
みゃ	mya
みゅ	myu
みょ	myo
りゃ	rya
りゅ	ryu
りょ	ryo
ぎゃ	gya
ぎゅ	gyu
ぎょ	gyo
じゃ	ja
じゅ	ju
じょ	jo
ぢゃ	ja
ぢゅ	ju
ぢょ	jo
びゃ	bya
びゅ	byu
びょ	byo
ぴゃ	pya
ぴゅ	pyu
ぴょ	pyo

- ※1. はねる音「ン」はnで表すが、m, b, pの前ではmを用いる。
- ※2. はねる音を表すnと次にくる母音字またはyとを切り離す必要がある場合には、nの次に「-」（ハイフン）を入れる。
- ※3. つまる音は、次にくる最初の子音字を重ねて表すが、次にchがつづく場合にはcを重ねずにtを用いる。
- ※4. 文の書きはじめや名詞の語頭は大文字で表記する。

③ 色彩

サインの文字色と背景色（地色）は、ユニバーサルデザインに配慮し、明度・色相・彩度の差が大きい見分けやすい色の組み合わせを用いることとする。

























【サインに使用する色の例】

使用箇所	使用色	参考 C, M, Y, K (上質紙)
サイン表示盤面色	 DIC 583	2, 2, 6, 0
サイン文字色	 K=100	0, 0, 0, 100
サイン文字色（中韓）	 DIC 255	100, 83, 29, 1
アクセント色	 DIC 269	11, 78, 7, 0
禁止色	 DIC 565	0, 85, 95, 0
安全色	 DIC 167	85, 0, 80, 0
注意色	 DIC 173	0, 0, 100, 5
指示色	 DIC 182	95, 40, 0, 0

※

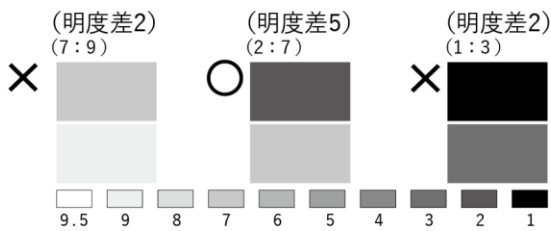
※ JIS Z 9103 指定色

【色の見え方の例】

	赤	ピンク	オレンジ	黄色	黄緑	緑	青	紫
一般色覚								
1型色覚								
2型色覚								

【色彩計画における留意点】

- ・色あせを考慮した色彩，材料を使用する。
- ・薄暗いところでも見やすいように大きくはっきりした表示を心がける。
- ・背景色と文字色に，なるべく5以上の明度差をつける。



- ・黒地に青色または赤色を用いる組み合わせは，その部分が黒くみえてしまい認識できない場合があるため，水色に近い青やオレンジに近い赤を用いる。



- ・4か国語表記する場合においては，中国語（簡体字）と韓国語は文字の形が日本語の漢字に似ているため，見分けがつきやすいよう日本語や英語とは違う文字色を使用する。

【4か国語表記する場合の事例】

?

観光案内所

Tourist Information 游览问讯处 관광 안내소

- ・赤系統と緑系統の色の直接の組み合わせは避ける。赤系統と緑系統の色が並ぶ場合は白線で輪郭をとるなど区分する。



- ・黄地に白色またはその逆の組み合わせは避ける。赤系統と緑系統の色が並ぶ場合は白線で輪郭をとるなどして区分する。



- ・案内図などで弁別しにくい色を並べる際には，黒や白線で輪郭をとるなどして区分する。



④ 書体

- ・サインで使用する書体は、視認性や可読性が高い「ゴシック体」「サンセリフ体」等を基本とする。ただし、鞆の浦や福山城公園など景観地域ではその限りではない。
- ・簡体字とハングル文字は、日本語や英語と相性が良い、日本国内で入手しやすい書体とする。

【使用書体の例】

日本語

JR福山駅 ばら公園 観光案内所
ふくやまえき かんこうあんないじょ

英語

JR Fukuyama Station Rose Park
Tourist Information 1234567890

簡体字

福山站 玫瑰公园 游览问讯处

ハングル文字

후쿠야마역 장미 공원 관광 안내소

【文字の変形について】

- ・日本語および中国語（簡体字）、韓国語については、水平比率 110%の使用を基本とするが、文字数や表示面によって水平比率 80%までの長体使用を認める。

○ 好ましい例

平体 水平比率110%

正体 水平比率100%

長体 水平比率90%

長体 水平比率80%

JR福山駅

JR福山駅

JR福山駅

JR福山駅

× 好ましくない例

水平比率70%

水平比率60%

水平比率50%

JR福山駅

JR福山駅

JR福山駅

- ・ 水平比率 100%の使用を基本とするが、文字数や表示面によっては Condensed フォントを使用し、それでも収まらない場合は、Condensed フォントの水平比率 90%までの長体使用を認める。
- ・ Condensed フォントがない書体を使う場合は、水平変形率 80%までの長体使用を認める。

○ 好ましい例

正体 水平比率100%

JR Fukuyama Station

長体 水平比率80%

JR Fukuyama Station

Condensed 正体 水平比率100%

JR Fukuyama Station

Condensed 長体 水平比率90%

JR Fukuyama Station

✕ 好ましくない例

水平比率70%

JR Fukuyama Station

Condensed 水平比率80%

JR Fukuyama Station

⑤ ピクトグラムと矢印

- ・「案内用図記号 JIS Z 8210」を基本とし、使用するピクトグラムを統一する。
(JIS Z 8210 ピクトグラムは常に最新の情報を確認する。以下のサイトから入手可能)
<https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0070/index>
- ・JIS に記載のないピクトグラムについては、意匠を踏襲して新規作成する。
- ・ピクトグラムの色彩や枠の形状についても統一する。
- ・矢印は前方、左方、右方の3方向を基本とする。
※ただし、特別な事情がある場合に限り、下方、斜め方向、かぎ型やUターンを認める。

【JIS ピクトグラムの例 (一部抜粋)】

・公共・一般施設



・観光・文化・スポーツ施設



・安全



・禁止



・交通施設



・注意



・商業施設

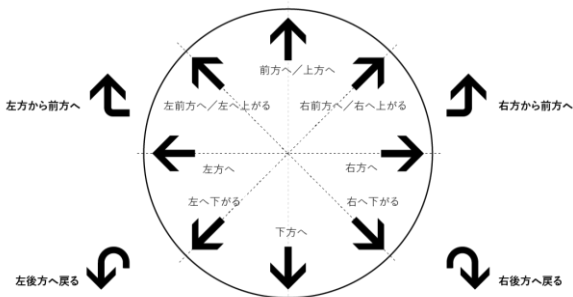


・指示



【矢印例】

・進行方向による選択



・補助表示を組み合わせた表現



⑥ 表示内容と優先度

表示内容は分かりやすさを優先して、案内サイン、誘導サインそれぞれで、掲載する情報の優先度をつける。

ア 案内サインに掲載する情報は、次の表を掲載基準とする。

ただし、施設等が密集するエリアなどで情報が多くなり煩雑にならないよう、見やすさも考慮する。

イ 表示スペースが限られる誘導サインに掲載する情報は、

「交通施設>大規模集客施設>利便施設>観光施設」とし、次の表を掲載基準とする。

【掲載情報の優先度】

優先度	区分	施設
A	交通施設	鉄道駅、バスターミナル、タクシーのりば、バス案内所、切符売り場など
B	大規模集客施設	文化施設、スポーツ施設など
C	利便施設	行政施設、公衆トイレ、広域避難場所など
D	観光施設	観光案内所、観光スポットなど

【サイン掲載情報基準】

区分	表示内容	案内サイン	誘導サイン
行政区分	町名	●	
	街区符号	●	
鉄道・道路・河川	道路名・通り名	●	◎
	鉄道路線名	●	
	高速道路名	●	
	交差点名	●	
	河川名・港湾名	●	
交通施設	鉄道駅名	●	◎
	バス停名	●	
	バスターミナル	●	◎
	タクシーのりば	●	
	一般送迎車 ※駅前広場案内図のみ	●	
	駐車場	●	
	駐輪場	●	
	船のりば	●	◎
	切符売り場 ※駅やのりば施設内サインのみ	●	
	バス案内所 ※駅前広場案内図のみ	●	

区分	表示内容	案内サイン	誘導サイン
大規模集客施設	展示場・イベント施設	●	◎
	劇場・ホール	●	◎
	会議場・コンベンションセンター	●	◎
	運動施設・競技場	●	◎
	イベント公園	●	◎
利便施設	市役所・官公庁	●	◎
	警察署・交番	●	○
	裁判所	●	
	消防署	●	
	郵便局	●	○
	病院・医療施設	●	○
	大学・短大・高校・中学校・小学校・幼稚園	●	
	図書館	●	○
	公民館・コミュニティセンター	●	○
	福祉施設	●	○
	児童公園	●	
	銀行・出張所・ATM・両替所	●	
	コンビニエンスストア		
	公衆トイレ	●	○
	公衆電話		
	広域避難場所	●	
	津波避難場所	●	
観光施設	観光案内所	●	◎
	博物館・美術館	●	○
	名所・史跡	●	○
	動物園・水族館・植物園	●	○
	遊園地・テーマパーク	●	○
	自然公園・キャンプ場	●	○
	温泉	●	○
	大型商業施設・百貨店		
	寺院・神社・教会	●	○
ホテル・宿泊施設	●		
移動利便設備・ バリアフリー設備	地下通路の地上出入口	●	
	地下通路や歩道橋接続用エレベーター	●	

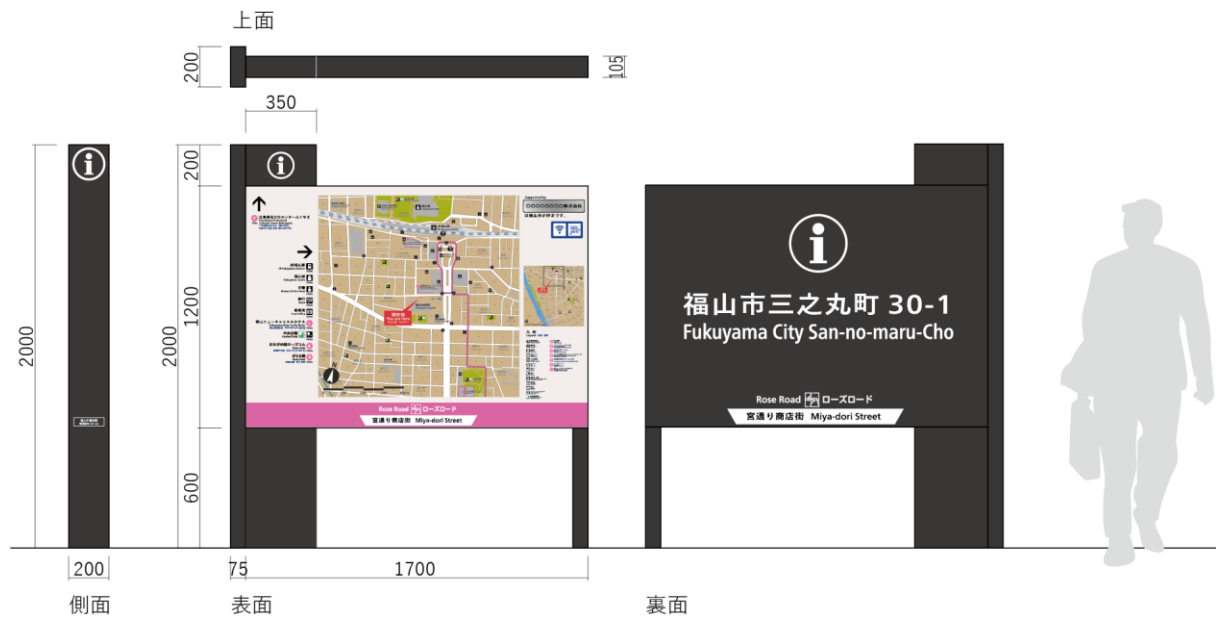
◎：サイン設置場所より半径 1500m 圏内に位置する情報

○：サイン設置場所より半径 250m 圏内に位置する情報

⑦ 標準形状

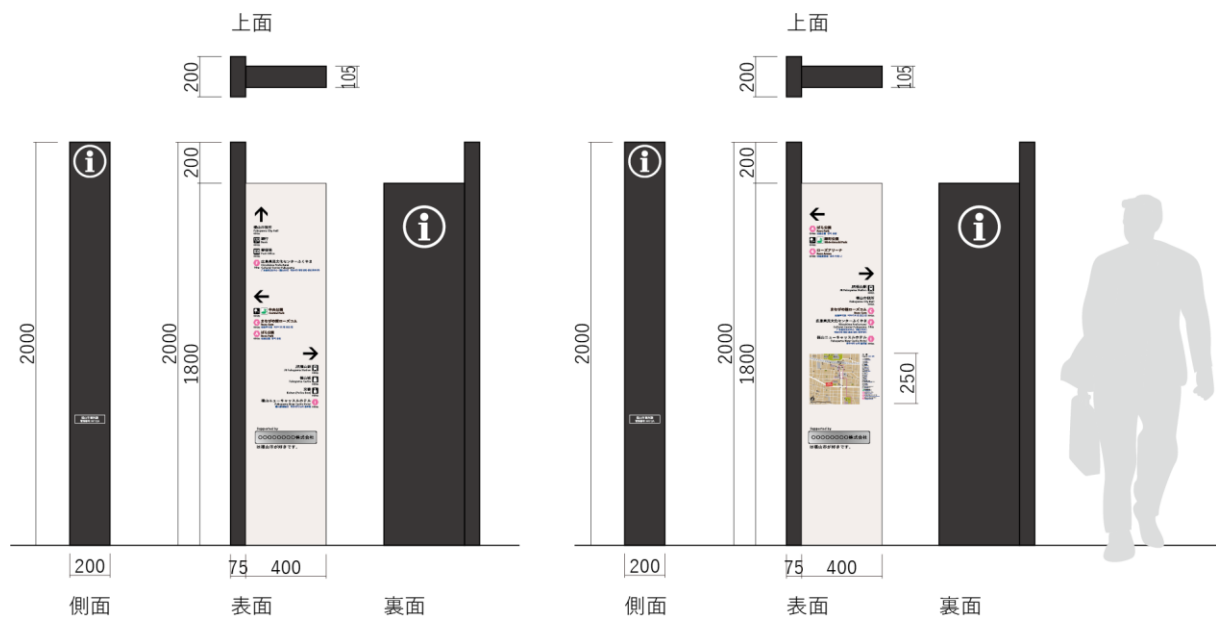
自立型（板型）

【案内サインの例】



【誘導サインの例】

【誘導サイン（周辺地図付き）の例】



⑧ 表示面基本デザイン

ア 基本レイアウト

(ア) 文字とピクトグラムの大きさ

誘導サインの設置場所や掲出高さ等に応じて、視認性を考慮した上で、文字の大きさやピクトグラムの大きさを決定する。

【文字のサイズと視距離の関係の目安】

視距離	日本語文字高	英語文字高
40m の場合	160mm 以上	120mm 以上
30m の場合	120mm 以上	90mm 以上
20m の場合	80mm 以上	60mm 以上
10m の場合	40mm 以上	30mm 以上
4～5m の場合	20mm 以上	15mm 以上
1～2m の場合	9mm 以上	7mm 以上

※「バリアフリー整備ガイドライン」参照

【ピクトグラムのサイズと視距離の関係の目安】

視距離	基準枠の寸法
40m の場合	480mm 以上
30m の場合	360mm 以上
20m の場合	240mm 以上
10m の場合	120mm 以上
5m の場合	60mm 以上
1m の場合	35mm 以上

※「バリアフリー整備ガイドライン」参照

(イ) 標準割付図矢印、ピクトグラム、文字および表示面サイズに対する余白の配置関係

ピクトグラムと文字サイズの関係



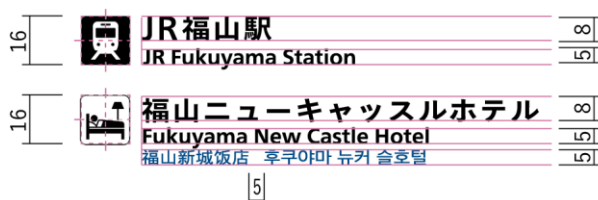
- ・英語文字の大きさは、日本語文字の65%以上とする。
- ・簡体字、ハングル文字の大きさは、英語文字と同じとする。

レイアウト例

誘導サイン 視認距離3.5m程度の場合



案内サイン 地図内表記の場合



案内サイン 凡例表記の場合



縮尺：約2/5

イ 表示面基本イメージ

【案内サイン】

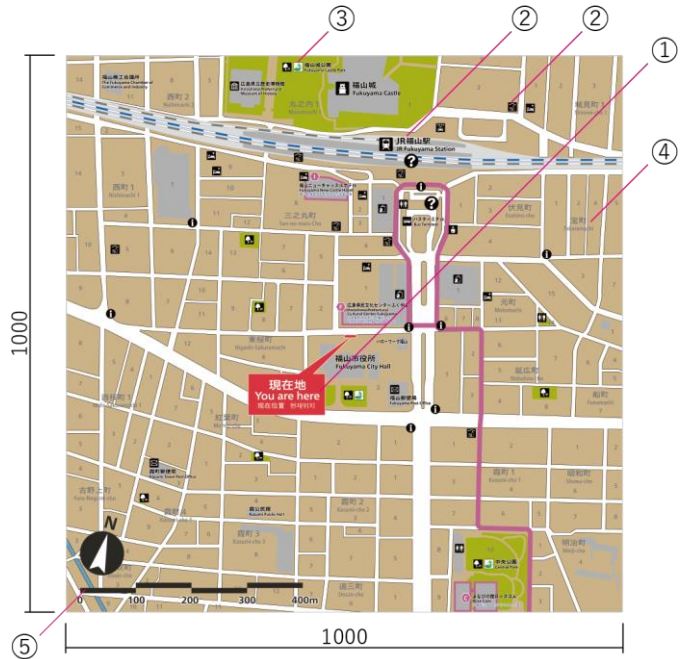
【全体】

- ①…インフォメーションマーク（ピクトグラム）を用いた案内サインタイトルを表示
- ②…誘導サインも併用して表示
- ③…周辺地図：1km 四方の範囲を 1000mm 角で表示（縮尺 1/1000）
- ④…広域地図：3km 四方の範囲を 300mm 角で表示（縮尺 1/10000）
- ⑤…地図に表記するピクトグラムについて凡例を 4 か国語で表示
- ⑥…フリー-Wi-Fi サービスが利用可能な場所ではピクトグラムおよび利用案内を表示
- ⑦…設置管理者（部署）を案内表示の妨げとならない場所に表示



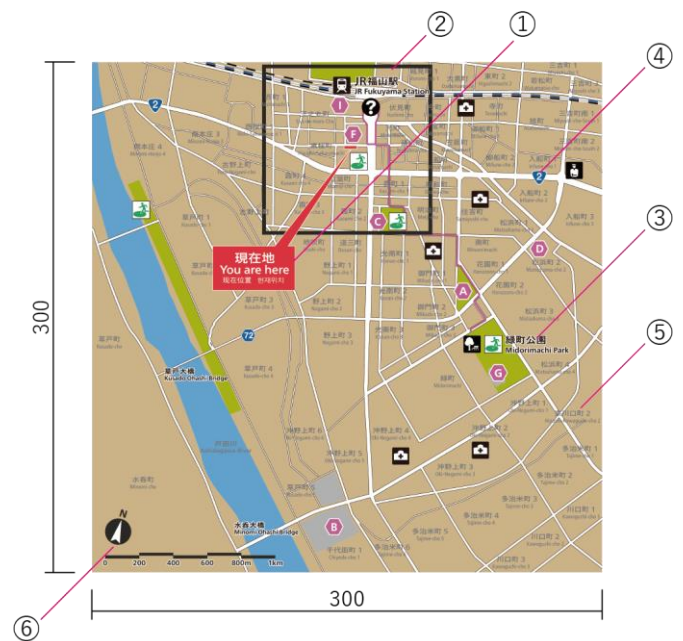
【周辺地図】

- ①…現在地表示（4か国語）
 - ・現在地はできるだけ地図面の中央に表示する
 - ・表示面に正対した人の視線の方角が真上となる向きに地図を表示する
- ②…施設をピクトグラムと文言で表示
- ③…広域避難場所の表示
- ④…町名および番地の表示
- ⑤…方位およびスケールの表示



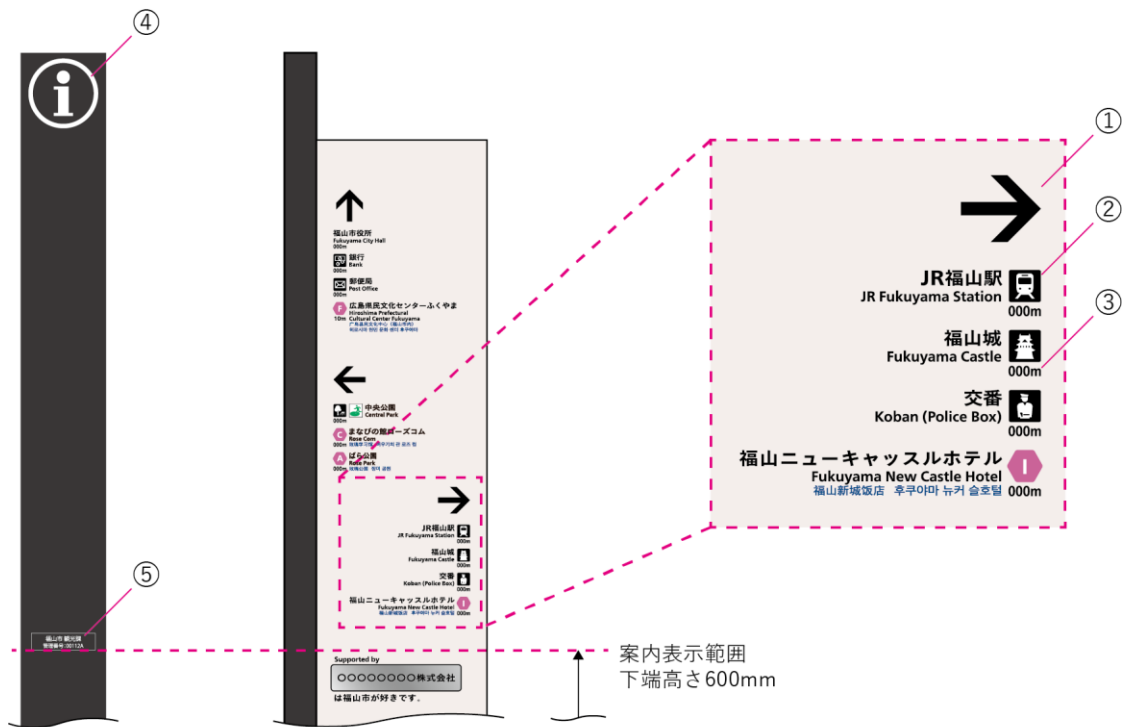
【広域地図】

- ①…現在地表示（4か国語）
 - ・表示面に正対した人の視線の方角が真上となる向きに地図を表示する
- ②…周辺地図の表示範囲を枠で表示
- ③…広域避難場所の表示
- ④…国道および県道の表示
- ⑤…町名の表示
- ⑥…方位およびスケールの表示



【誘導サイン】

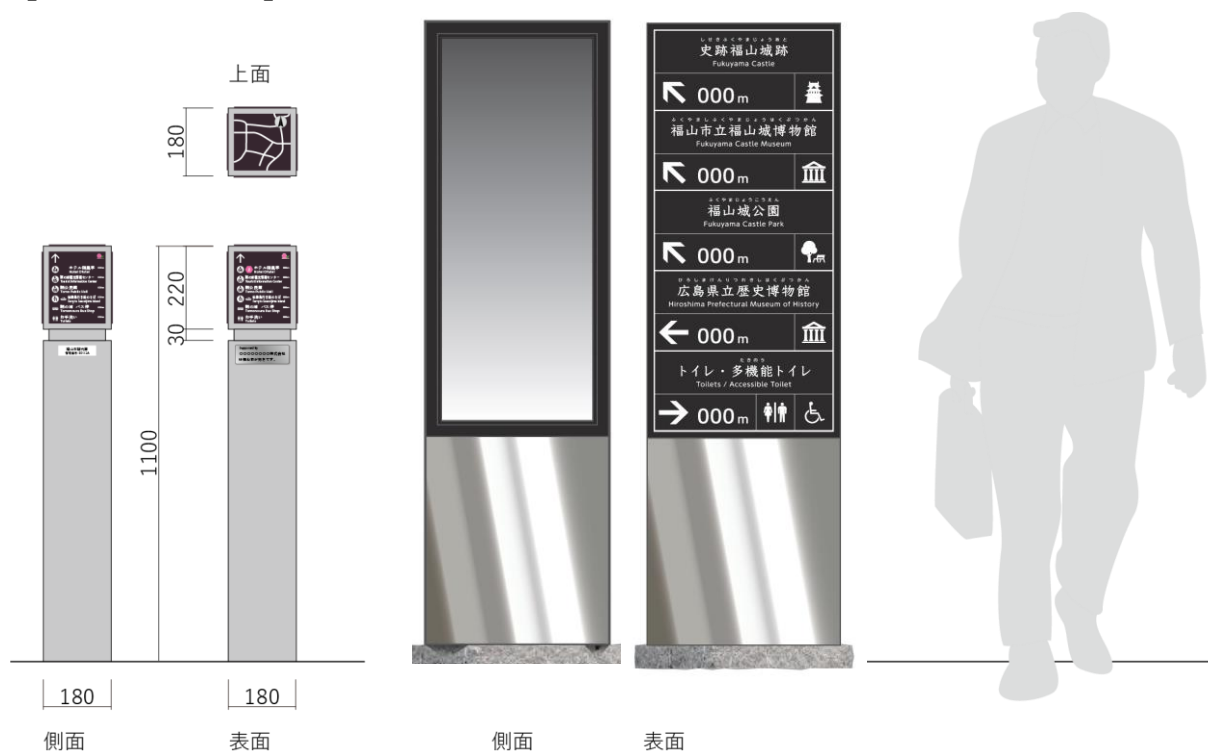
- ①…施設のある方向を矢印で表示
- ②…ピクトグラムと文言で施設名称を表示
- ③…現在地から施設入口までのおおよその距離を表示
- ④…インフォメーションマーク（ピクトグラム）を表示
- ⑤…設置管理者（部署）を案内表示の妨げとならない場所に表示



⑨ 地域特性と景観への配慮

- ・福山市景観計画等を参照し、市内の様々な地域景観に配慮したサイン設計を行うこととする。
- ・特に鞆の浦や福山城公園など、観光や文化財保護に特化し、景観への配慮や現状変更許可申請が必要な地域では、まちづくりに関わる組織や審議会等との協議や各施策と連携して整備を進めることとする。

【サインデザイン案】



⑩ デジタル化への対応

ア Web サイトとの連携や QR コードの活用

サインだけでは伝えきれない詳細情報の提供方法として、多言語の公式 Web サイトや解説サイトとの連携が有効である。それらのサイトとの連携をより強化するために、サインに QR コードを表示する。

【QR コードの活用案】



イ フリーWi-Fi の案内

駅構内やバス停留所、観光施設などのフリーWi-Fi が利用可能なスポットでは、ピクトグラムと文言でWi-Fiの案内を大きく表示させることで、誰でも簡単に、インターネットに接続できることを示す。

【イメージ図】



整備方針のまとめ

サインの整備方針については、下記表のとおりとする。

種別	項目	福山市ガイドライン・基準
案内サイン	サインの掲出高さ 設置基準	地図面の中心1125mm 表示面の下端600mm以上 表示面上端1800mm
	言語数 多言語表記	基本：日本語と英語の2言語 凡例：日英中（簡）韓の4言語 ※案内所、大規模集客施設、主要観光スポット、 広域避難場所は凡例以外も4言語を基本とする
	文字の大きさ 表示面基本デザイン	視認距離1～2m程度の文字サイズとする 和文の最小文字高：9mm 英文の最小文字高：7mm
	盤面サイズ 表示面基本デザイン	周辺地図の表示サイズ Aタイプ（案内サイン）：1000mm×1000mm Cタイプ（案内図付き誘導サイン）250mm×250mm
	地図の掲載範囲 表示面基本デザイン	周辺地図の表示範囲：約1km四方 理由： ・中心地より徒歩7～8分圏 ・案内サインの設置間隔を約500mとするため
	地図の縮尺 表示面基本デザイン	Aタイプ（案内サイン）：1/1000 Cタイプ（案内図付き誘導サイン）：1/4000
	広域地図盤面サイズ 表示面基本デザイン	広域地図の表示サイズ 300mm×300mm
	広域地図縮尺 表示面基本デザイン	広域地図の表示範囲：約3km四方 縮尺：1/10000 理由： ・福山駅からエフピコアリーナまでが収まる範囲
	地図の掲載情報 表示内容と優先度	・地図に表示する一般的情報 ・MICE関連施設（民間施設含む） ※詳細はガイドラインに記載

種別	項目	福山市ガイドライン・基準
誘導サイン	サインの掲出高さ 設置基準	頭上に設置のサインの下段：2200～2500mm以上 表示面の上端（壁付型）：1800mm 表示面の下端（壁付型）：600mm以上
	言語数 多言語表記	基本：日本語と英語の2言語 ：案内所は4言語（日・英・中(簡体字)・韓)
	文字の大きさ 表示面基本デザイン	必要な視認距離を確認した上で、文字のサイズと視距離の関係の目安で設定された性能以上のサイズで表示する（バリアフリー整備ガイドライン参照） 標準デザインの場合： 視認距離3～4m程度の文字サイズ
	和文英文の比率 表示面基本デザイン	日：英：中：韓 = 1：0.65：0.65：0.65
	本体色 色彩	サインの文字色と背景色（地色）は、ユニバーサルデザインに配慮し、明度・色相・再度の差が大きい見分けやすい色の組み合わせを用いる
	明度差 色彩	背景色と文字色に、なるべく5以上の明度差をつける
共通・その他	配置 配置基準	線条配置：福山駅から各MICE施設までのアクセスルート上での考え方 階層配置：それ以外の場所での考え方 主要な起点と終点、分岐点、結節点、複数の導線が交差または離散する場所に設置
	書体 書体	基本：ゴシック体、サンセリフ体（欧文） ※地域性や設置場所の景観に応じて、可読性を十分に確保できれば他の書体も使用可
	日本語・外国語の表記（用語） 多言語表記	固有名詞：原則、ローマ字により発音通りに表記 普通名詞：原則、英語訳を表記 普通名詞を含む固有名詞：固有名詞部分はローマ字、普通名詞部分は英語で表記
	ピクトグラム ピクトグラムと矢印	基本：「案内用図記号JISZ8210」を使用する ※JISに記載のないピクトグラムについては、意匠を踏襲して新規作成できる
	メンテナンス、維持管理 その他	広告掲出等による収益を確保し、維持管理費に充てること等も検討する
	ICT活用等 その他	他の媒体との連携： ・Webサイトの連携やQRコードの活用 ・フリーWi-Fiの案内

4 事業推進に向けて

サインを有効に機能させ、本市が魅力的な地域となるために、分かりやすく統一性のあるサイン等の整備を本ガイドラインに基づいて、官民一体で取り組んでいくことが必要である。

民間事業者等における事業推進に向けた仕組みや環境づくりについても、今後検討していくこととする。

参考. 用語リスト

表記内容は統一した用語リストに基づいて表記する。

【交通施設】

日本語	英語	中国語（簡体字）	韓国語
JR 福山駅	JR Fukuyama Station	JR 福山站	JR 후쿠야마역
バス停留所	Bus Stop	巴士停靠站	버스정류장
バスターミナル	Bus Terminal	公共汽车总站	버스 터미널
タクシー	Taxi	出租车	택시
駐車場	Parking	停车场	주차장
駐輪場	Bicycle Parking	自行车停车场	자전거 두는 곳
フェリー	Ferry	轮渡	여객선
福山市営渡船場 （仙酔島行き船のりば）	*()の方を翻訳 Ferry to Sensuijima Island	*()の方を翻訳 去仙酔島の船码头	*()の方を翻訳
きっぷうりば	Tickets（または） Ticket Office	售票处	표 사는 곳
バス案内所	Bus Information Center	公共汽车问讯处	버스 안내소
一般送迎車	Private Car	普通接送车	일반차량

【MICE 主要施設】

日本語	英語	中国語（簡体字）	韓国語
ばら公園	Rose Park	玫瑰公园	장미 공원
エフピコアリーナふくや ま	F・Pico Arena Fukuyama	福山埃比科竞技场	에 후비코 아리나 후쿠야마
まなびの館ローズコム	Rose Com	玫瑰学习馆	버우기의 관 로즈 컴
ふくやま芸術文化ホール （リーデンローズ）	Fukuyama Hall of Art & Culture (Reed & Rose)	福山艺术文化大厅 （芦苇与玫瑰）	후쿠야마 예술 문화홀 (리든 로즈)
ビッグローズ	Big Rose	大型玫瑰会馆	빅 로즈
広島県民文化センターふ くやま	Hiroshima Prefectural Cultural Center Fukuyama	広島県民文化中心（福山 市内）	히로시마 현민 문화 센터 후쿠야마
ローズアリーナ	Rose Arena	玫瑰竞技场	로즈 아레 나
福寿会館	Fukuju Kaikan	福寿会馆	복수회관
福山ニューキャッスルホ テル	Fukuyama New Castle Hotel	福山新城饭店	후쿠야마 뉴커 슬호텔
ホテル鷗風亭	Hotel Ofutei	鸥风亭酒店	호텔 오우후우 테이
劇場	Theater	剧院	극장
ホール（公会堂）	Hall	大厅（礼堂）	홀
体育館	Gymnasium	体育馆	체육관
運動場	Athletic Field	运动场	운동장
プール	Pool	游泳池	수영장
球場・スタジアム	Stadium	球场・体育场	구장・스타디움
緑町公園	Midorimachi Park	绿町公园	

中央公園	Central Park	中央公园	
------	--------------	------	--

【利便施設】

日本語	英語	中国語（簡体字）	韓国語
福山市役所	Fukuyama City Hall	福山市政府	후쿠야마 시청
警察署	Police Station	公安局	경찰서
交番	Koban (Police Box)	派出所	파출소
裁判所	Courthouse	法院	법원
税務署	Tax Office	税务局	세무서
消防署	Fire Station	消防局	소방서
郵便局	Post Office	邮局	우체국
病院	Hospital	医院	병원
図書館	Library	图书馆	도서관
公民館	Public Hall	公民馆	시민회관
銀行	Bank	银行	은행
ATM	ATM	自动取款机	ATM
両替所	Currency Exchange Counter	外币兑换处	환전소
コンビニエンスストア	Convenience Store	便利店	편의점
公衆トイレ	Restroom	公共厕所	출구
公衆電話	Telephone	公用电话	공중전화
広域避難場所	Safety Evacuation Area	广域避难场所	피난장소

【観光施設】

日本語	英語	中国語（簡体字）	韓国語
観光案内所	Tourist Information	观光问讯处	관광 안내소
鞆の浦観光情報センター	Tomonoura Tourist Information Center	鞆之浦観光信息中心	토모노우라 관광 정보 센터
美術館/博物館	Museum of Art/Museum	美术馆/博物馆	미술관/박물관
動物園	Zoo	动物园	동물원
水族館	Aquarium	水族馆	수족관
植物園	Botanical Garden	植物园	식물원
遊園地	Amusement Park	游乐场	유원지
温泉	Onsen	温泉	온천
福山城	Fukuyama Castle	福山城	후쿠야마 성
福山城公園	Fukuyama Castle Park	福山城公园	후쿠야마 성 공원

【その他案内表記】

日本語	英語	中国語（簡体字）	韓国語
ご案内・ インフォメーション	Information	向导・信息中心	안내
現在地	You Are Here	现在位置	현재위치
凡例	Legend	凡例	범례